

# 令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

## 全体の概要

長池	小学校	児童数	51
----	-----	-----	----

## 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.32	19.93	37.25	40.44	44.67	9.40	148.82	20.44	53.77
大阪市	16.40	19.40	32.70	39.96	48.15	9.41	149.30	21.44	52.53
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
女子	18.35	21.35	42.00	43.13	37.26	9.12	149.43	14.30	60.52
大阪市	16.15	18.51	37.54	38.38	38.97	9.65	142.68	13.31	54.47
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59

## 結果の概要

男子は、握力、長座体前屈は全国平均も大きく上回ったものの、他の種目は全国並びに大阪市平均並み、または若干下回った。しかし、20mシャトルランは全国並びに大阪市平均を大きく下回った。体力合計点は全国平均を0.16点上回る結果となった。

一方女子はシャトルランの記録が大阪市、全国の平均を下回ったものの他の種目は全て全国平均を大きく上回り、体力合計得点は4.93点上回った。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今回の調査で①「生活習慣の確立」、②「大人から子どもへの働きかけのあり方」、③「ICTを活用した授業の工夫」の3点が課題として明らかになった。それぞれの今後の取り組みについては以下の通り。①「生活習慣の確立」に関しては、「朝食をとること」、「テレビやゲームの時間について」、「睡眠時間の安定」、「休日の運動・遊び」の必要性をさらに周知し、PTA、地域、学校が一体となって児童に働きかけていく。②「大人から子どもへの働きかけのあり方」では、今回の調査結果、男女間の結果の違いから明らかになったように、大人や指導者からの働きかけが生活習慣や運動能力にも大きく関わっていることが明らかになった。このことは保護者や指導者も知ることで子どもたちへの働きかけ方が変わるものと考える。③「ICTを活用した授業の工夫」では、体育の授業内容の充実を図るべく、ICTを活用した指導法の研究を進めていく。